

保健所	Ⅰ 歯と口の健康づくり推進会議											Ⅱ 歯科口腔保健推進研修				
	開催日	出席者数	関係機関＊								議題	開催日	主な対象	受講者数	研修のテーマ・講師等	
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧						
一宮	H29.7.6	21	●		●	●	●	●			1 平成29年度一宮保健所管内歯科保健事業について 2 要介護高齢者及び在宅療養者の歯科口腔保健対策について 3 地域歯科保健課題対応事業について	H29.12.15	介護支援専門員	93	“食べる”を支えるために 【講師】 一宮市歯科医師会 副会長 青山圭一 愛知県歯科衛生士会 尾張西部支部長 森真弓	
瀬戸	H29.7.3	16	●			●				●	1 平成29年度歯科保健事業について 2 愛知県歯科口腔保健基本計画と管内市町の状況について 3 地域歯科保健課題対応事業について	H29.12.12	幼稚園教諭 保育園保育士・看護師 市町関係者等	43	元気なお口の育て方 【講師】 はねっと代表 歯科衛生士 中村和子	
春日井	(予)H30.3.1	－	●	●	●	●			●		1 愛知県歯科口腔保健基本計画の進行状況と今後の取組みについて 2 働く世代の歯周病対策の推進について	H29.11.15	小中学校保健主事 市歯科保健担当者	30	ひろがる つながる ふかめあう 歯・口の健康づくり ～子どもの心に響かせよう～ 【講師】 恵那市国民健康保険上矢作歯科診療所 所長 石黒幸司	
江南	(予)H30.1.25	－	●			●	●	●	●		1 管内市町の歯科口腔保健対策の課題と方策について 2 地域歯科保健課題対応事業について	(予)H30.1.18	医師 歯科医師 薬剤師 介護支援専門員	—	高齢者の低栄養防止に果たす歯と口の役割 ～オーラルフレイルを理解する～ 【講師】 愛知学院大学歯学部在宅歯科医療学寄付講座 准教授 杉本太造	
清須	H29.12.14		●	●	●	●	●	●			1 愛知県歯科口腔保健基本計画の進行状況と中間評価に向けて 2 清須保健所地域歯科保健課題対応事業の取組みについて	H29.10.26	介護支援専門員、訪問看護師 言語聴覚士、保健師 歯科医師 歯科衛生士等	47	要介護高齢者の経口摂取を支援する ～利用者さんの「口腔に関する情報」の把握と活かし方～ 【講師】 西春日井歯科医師会 田邊敏也 愛知県歯科衛生士会 池山豊子	
津島	H29.9.25	23	●			●			●		1 地域における歯科口腔保健対策の推進について 2 若い世代をターゲットとした歯周病予防対策(津島保健所地域歯科保健課題対応事業)について	H29.11.9	保育士、幼稚園教諭 歯科衛生士、栄養士、保健師等	52	楽しく食べる子どもを育てる理論と実践 ～「咀嚼」「嗜好」「食欲」の発達を学ぶ～ 【講師】 名古屋短期大学保育科教授 小川雄二	
半田	H29.11.28	17	●			●	●	●			1 愛知県歯科口腔保健基本計画及び市町健康増進計画の推進について 2 半田保健所・知多保健所地域歯科保健課題対応事業について	(予)H30.1.18	幼稚園教諭 保育園保育士等 市町母子保健事業従事者	—	子どもの食べる機能を育てる～保育園で行える「食べ方」支援～ 【講師】 愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 非常勤講師 中野崇	
知多	半田と合同開催	13				●	●	●				H29.12.21	幼稚園教諭 保育園保育士等 市母子保健事業従事者	62	子どもの食べる機能を育てる～保育園で行える「食べ方」支援～ 【講師】 愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 非常勤講師 中野崇	
衣浦東部	(予)H30.1.25	34	●			●	●	●	●		1 愛知県歯科口腔保健基本計画及び各市健康増進計画の推進について 2 地域歯科保健課題対応事業について	(予)H30.3.1	歯科医師 歯科衛生士 保健師 その他関係職員等	(予)35	歯科医師、歯科衛生士による口から食べる支援・より良く生きる支援 【講師】 鈴木歯科 歯科医師 鈴木邦治 歯科衛生士 兼松洋子	
西尾	H29.7.6	17	●		●	●			●		1 保健所における歯科保健事業(平成29年度)について 2 愛知県歯科口腔保健基本計画・健康日本21あいち新計画及び市町健康増進計画の推進について 3 西尾保健所地域歯科保健課題対応事業について	H29.11.7	園・学校保健関係者等	60	むし歯予防の基礎知識 ～フッ化物の知識から実践へ広げよう～ 【講師】 愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科 教授 犬飼順子	
新城	H30.1.16	18	●			●	●	●			1 管内における健康日本21あいち新計画及び愛知県歯科口腔保健基本計画の指標の進捗・県下の状況について 2 新城保健所管内の歯科口腔保健対策の推進について 3 平成29年度地域歯科保健課題対応事業について	H29.8.29	園・小中学校養護教諭等 行政関係者等	40	健全な歯と口の育成を目指して！！ ～口腔機能の育成・向上でしっかりよく噛んで食べられる子に～ 【講師】 愛知県歯科医師会地域保健部 愛知学院大学歯学部非常勤講師・今泉歯科院長 今泉三枝	
豊川	(予)H30.2.22	22	●		●	●	●	●	●		1 愛知県歯科口腔保健基本計画及び各市健康増進計画の推進について 2 豊川保健所地域歯科保健課題対応事業について	H29.12.14	歯科医師会、歯科衛生士会、 歯科技工士会 各市保健主管課、防災主管課 豊橋市保健所(共催)	67	災害時における歯科保健医療活動に向けて ～平時の備えを考える～ 【講師】 兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座／救急・災害医療学講座 門井謙典	
<div>＊ 歯と口の健康推進会議の関係機関 ①歯科医師会 ②医師会 ③関係団体(①②以外) ④市町村保健関係 ⑤市町村福祉関係 ⑥学校保健関係</div>												健康対策課	(予)H30.2.1	行政歯科保健担当者、歯科医療関係者 (愛知県歯科医師会共催)	－	災害時保健医療活動における“平時の取組・連携”の推進 【活動報告者】 愛知県歯科医師会 理事 紀藤政司、豊川市保健センター 歯科衛生士 中村恵奈、老人保健施設協会 会長 岡田 温、防災ママかきつばた 代表 高木一恵 【助言者】 日本歯科医師会 副会長 佐藤 保
													(予)H30.2.6	企業・事業所、市町村・保健所等の禁煙支援担当者、特定健康診査・保健指導担当者、学校保健・喫煙防止教育担当者等	－	働く世代の歯周病対策の推進 【講師】 愛知県歯科医師会 理事 瀬川伸広

Ⅲ 地域歯科保健課題対応事業				
保健所	一宮	瀬戸	春日井	江南
事業名	稲沢市における障がい児(者)歯科医療の窓口整備に向けた取り組み	地域包括ケアに向けた在宅口腔ケア推進の体制整備	働く世代の歯周病対策の推進	乳幼児期の口腔機能維持向上を目指した事業の在り方検討
地域課題	<p>○稲沢市では、障がい児(者)歯科検診を、保健センター祖父江支所で年6回実施しているが、治療や定期検診等については一般診療所への受診が必要になる。</p> <p>○稲沢市の歯科診療所の中で10施設に愛知県歯科医師会の障がい者歯科認定協力医がいる。このことは会作成の認定医一覧リーフレットの保健センター等設置及び会HPに掲載されているものの、これまで受診依頼はない。</p> <p>○管内の一宮市では口腔保健センターが設置され、地域の障がい児(者)歯科医療を担っているが、稲沢市民も受診しており、予約が取りにくい状況である。地域の障がい児(者)医療の充実のためには、稲沢市においての歯科診療での受け入れが必須となるが、体制整備が十分ではない。</p>	<p>○介護支援専門員でアセスメント時に歯や口の状態の確認を対象者全員する人は、16.1%と少ない。「相談があった時のみ」「しない」方の理由として、「利用者からの訴えがない」、「口の中は見せてもらいにくい」であり、アプローチ方法の検討が必要。</p> <p>○住民への啓発等関係機関が連携し、口腔ケアの推進を図っていく必要がある。また、在宅療養するための歯科関係情報の提供も望まれている。</p> <p>○歯科衛生士への調査結果では、在宅口腔ケアに自信のない者が71.3%。研修等の人材の育成が必要である。</p>	<p>○歯周病対策は子どもから高齢者まで幅広い取組が必要であるが、職域での取り組みは進んでいない。</p> <p>○歯間清掃用器具の使用や定期的な歯科検診等の口腔管理の実態も把握できていない。</p> <p>○各市で実施している40歳・50歳・60歳の節目歯周疾患検診の受診率は1割前後と低い状況であり、歯周炎を有する者の割合も改善がみられない。</p>	<p>○当保健所の3歳児の不正咬合が認められる児の割合が平成17年度以降常に高位に推移しており、平成27年度18.4%と県内12保健所のうち2番めに高い。</p> <p>○妊産婦歯科健診を市町の事業として取り組まれているが、乳児期の口腔機能に対する取組は不十分である(かむこと支援にとどまっている)。</p> <p>○幼稚園・保育所・認定こども園での食べる行為に関する心配ごとの声が多く寄せられた。</p>
事業の目的	稲沢市における障がい児(者)歯科医療体制整備に寄与することにより、障がい児(者)が、生涯を通じて、歯科疾患予防ができ、健康で質の高い生活を送ることができる地域づくりを行う。	在宅口腔ケアのニーズの把握及びそれに対応できる体制が、地域包括ケアシステム構築に向け整備される。	企業関係者と歯周病対策に取り組めるような体制づくりや働く人々の実態調査に基づいた普及啓発の方策を検討することにより、健康で質の高い生活を営むことができるよう歯・口腔の健康を維持する。	3歳児の不正咬合等が認められる児の割合の減少を目的とし、乳児期に適切な口腔機能を獲得できる子育て支援ができる保健医療関係者の人材育成を行うとともに市町事業とかけかりつけ歯科医の連携を目指した事業の在り方を検討する。
目標	<p>1 稲沢市地域で、障がい児(者)歯科医療の相談窓口を設置することができる。</p> <p>2 障がい児(者)の受入れについて、稲沢市地域の歯科医師会員の意識がわかる。</p> <p>3 稲沢市地域の歯科医師会員の障がい児(者)歯科医療への認識が高まる。</p>	<p>1 高齢者に係わる関係者が歯や口、食べることにする問題を把握することができる。</p> <p>2 関係者の在宅口腔ケア推進に必要な情報が整理される。</p> <p>3 地域包括ケアシステムの推進に向け、介護・医療及び歯科関係者が連携することができる。</p> <p>4 在宅訪問での口腔ケアができる歯科衛生士を育成することができる。</p>	<p>1 職域での歯周病予防の理解を深まることによる口腔ケアの推進</p> <p>2 職域での歯科検診受診率の向上</p> <p>3 かかりつけ歯科医を持ち定期健診をうける者の増加</p> <p>4 歯周病対策に取り組む企業の増加</p>	<p>1 関係者が、口腔機能の発育発達に関する知識が整理できる。</p> <p>2 関係者が、口腔機能の発育発達の視点から歯みがき指導に対して適切な助言や早期介入ができる。</p> <p>3 関係者が、口腔機能の発育発達の視点から少し配慮が必要な児への対応に関する情報を得ることができる。</p> <p>4 関係者が、早期にかかりつけ歯科医を保護者が持つことができるよう事業の在り方検討を行うことができる。</p>
事業内容	<p>1 検討会議(平成29年7月6日) 内 容:事業計画、実態調査・研修会内容の検討 出席者:稲沢市歯科医師会、歯科衛生士会尾張西部支部、稲沢市(健康推進課、保育課、福祉課)、一宮市歯科医師会</p> <p>2 実態調査(平成29年7～8月頃) 内 容:障がい児(者)受入れ状況(施設・意識)について 対 象:稲沢市歯科医師会会員 54名</p> <p>3 研修会 (平成29年12月2日) 内 容:「障がい児・者の歯科治療をする際に押さえておきたいポイント」 対 象:稲沢市歯科医師会会員、一宮市歯科医師会会員、歯科衛生士会尾張西部支部会員 講 師:愛知学院大学 歯学部小児歯科学講座 障害者歯科特殊診療科 名和 弘幸教授</p> <p>4 まとめ(作成中:年度内に還元予定) 内 容:実態調査、研修会等の結果について還元 対 象:稲沢市歯科医師会、歯科衛生士会尾張西部支部、稲沢市(健康推進課、保育課、福祉課)、一宮市歯科医師会</p>	<p>1 会議の開催 (1)ワーキング会議の開催 2回 アセスメントツール作成のための検討 平成29年9月1日(金)、11月24日(金) (2)関係者会議の開催 1回 アセスメントツールの作成及び住民への在宅口腔ケア推進のための協議を行う。 平成30年2月19日(月)予定</p> <p>2 実態調査 (1)摂食嚥下障害対応医療機関の調査 対象 歯科診療所 (2)嚥下調整食取扱い店の調査 対象 薬局</p> <p>3 口腔ケアの重要性の啓発 保健所だよりでの啓発</p> <p>4 研修会の開催 (1)歯科衛生士研修会 平成29年11月2日(木) 講演「全身疾患を有する患者の口腔ケア」 講師 愛知県歯科衛生士会理事 渡邊理沙 (2)多職種連携のための在宅口腔ケア推進研修会 1回 平成30年3月8日(木)予定</p>	<p>1 関係機関会議 2回 (1)今年度の事業計画と事業評価方法 (2)モデル事業の評価を踏まえた次年度事業の計画 助言者:愛知学院大学歯学部 嶋崎教授 名古屋工業大学 横山教授 出席者:企業、各歯科医師会代表者、 歯科衛生士会尾張北部支部長、市関係者 平成29年6月9日(木)、平成30年2月8日(木)予定</p> <p>2 啓発事業の実施 対象:協力が得られた4事業所の従業員 時期:6月～12月</p> <p>3 普及講演会 事業所健康管理担当者対象 (1)平成28年度アンケート調査結果の報告 (2)講演「生活習慣病のリスクファクター」 講師:愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座 教授 嶋崎義浩氏 (3)事業所における歯周病対策の取組み (4)実技「デンタルフロス・歯間ブラシの使い方」 平成29年8月9日(水)</p>	<p>1 現状把握 乳幼児期に関わる市町職員・歯科医師会からの聞き取り</p> <p>2 乳幼児歯科口腔保健医療関係者連絡会議 平成29年8月31日(木) 課題と方向性の関係者間の共有化を図る。</p> <p>3 乳幼児歯科口腔保健医療に関わる支援者研修会 日にち:平成29年12月27日(水) 対象:幼稚園・保育所・認定こども園の幼稚園教諭・保育士、歯科衛生士、保健師、栄養士 等 内容:乳幼児期の口腔機能の発育発達に関する知識の習得 講師:愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 福田理主任教授</p> <p>日にち:平成30年2月22日(木)予定 対象:尾北歯科医師会会員、犬山扶桑歯科医師会会員 内容:乳幼児歯科健康診査項目に関する精度管理及び乳幼児期の口腔機能の発育発達に関する情報整理 講師:愛知学院大学歯学部小児歯科学講座 福田理主任教授</p>

Ⅲ 地域歯科保健課題対応事業				
保健所	清須	津島	半田・知多	衣浦東部
事業名	地域包括ケアシステムにおける経口摂取支援を目的とした歯科医療と介護の連携推進について	海部地域みんなで取り組む歯周病予防事業～若い世代の歯周病対策～	乳幼児期の歯・口の機能の発達を育む「食べ方」支援に向けた環境整備	災害時歯科口腔保健医療対策事業～災害時を想定した口腔ケアのあり方～
地域課題	○医療と介護の連携推進に向けた医師会サポートセンター事業等により在宅医療の推進が図られる一方で、地域包括ケアシステムにおける歯科専門職種の経口摂取支援の立場からの関わりを充実させ、在宅歯科医療のさらなる推進を目指す必要がある。	○当保健所管内は、歯周疾患検診結果から50歳以降の平均現在歯数が県平均より低いため、40歳以前の若い世代へ歯周病予防の働きかけが必要である。 ○若い世代への啓発内容は、歯周病やう蝕の予防方法など基礎知識の普及を図ることが必要があることが海部地域で実施したアンケート調査から確認されている。	○乳幼児の食べ方に関する実態調査を実施し、離乳食の時期に丸飲みしてたり、園児が食べる時に唇を閉じてかんでいない等の食べ方の実態が明らかになり、関係職種が「食べ方」の支援ができる環境整備を整える必要がある。	○当管内は、地震による津波被害が大きいと想定されている地域である。 ○行政関係者と歯科保健医療関係者間で歯科医療に関する協定は締結しているが、発災時の口腔ケアについて検討する機会を持てていなかった。 ○発災時の避難所における口腔ケア活動の必要性について、平成28年度の研修会で理解はできたが、口腔ケア活動ができる体制づくりが喫緊の課題である。
事業の目的	歯科専門職種が地域包括ケアシステムの体制づくりにおける在宅医療と介護の連携推進において、経口摂取支援の立場から多職種との関わりを積極的に行う。	海部地域における歯周病予防のための情報を若い世代に発信することにより、40歳の住民が歯周病予防を実践し、生涯、歯・口の健康を維持でき豊かな生活を送ることを目指す。	関係職種が食べる機能の成長発達の重要性和支援方法を理解し、乳幼児とその保護者に対して歯・口の機能の発達を促す「食べ方」の支援ができる。	市ごとに発災時の口腔ケア活動を地区歯科医師会と共にできるよう、保健所は、人材確保の検討等具体策をロードマップを示しながら各市が行う災害対策を支援する。
目標	1 平成30年度の地域包括ケアシステム構築に向け、歯科専門職が地域包括ケアシステムにおける在宅歯科医療のあり方についての検討に参加し自ら実践できる。 2 歯科医師、歯科衛生士が経口摂取支援に向け多職種(ケアマネジャー、介護職員、医師、訪問看護師、栄養士等)と連携できる。 3 歯科医師、歯科衛生士が「経口摂取支援の必要性を理解し実践できる多職種の増加」に関与する。	市町村、歯科医師会等歯科保健関係者が、20歳から40歳の世代や働く世代など歯科保健情報の届きにくい住民への働きかけの取組み方法を検討し、地域づくりとして実践することができる。	1 母子保健及び保育関係者が、乳幼児期の食べる機能の発達状態に関する地域の実態を探り、課題を関係者間で共有できる。 2 母子保健及び保育関係者が、乳幼児期の歯・口の発達を学び、適切な「食べ方」に関する支援の必要性を理解できる。 3 母子保健及び保育関係者が連携して、乳幼児期の歯・口の成長発達に応じた適切な「食べ方」支援を行うことができる。	1 平時の準備ができる(口腔ケア活動が可能となる人材の確保)。 2 歯科保健医療関係者及び行政関係者が災害時の口腔ケアの重要性や発災後の時系列に応じた支援内容・方法についてイメージができるようにする。 3 発災時には、自治体として、歯科保健医療関係者と協力・連携して、口腔ケア活動が展開できる体制づくりをめざす。
事業内容	1 事業検討ワーキング会議 1回 平成29年8月3日(木) 出席者:歯科医師会、医師会、歯科衛生士会、管内市町地域包括支援センター、ケアマネジャー、訪問看護ステーション等 2 モニタリングアンケートのモデル実施 4介護サービス事業所における利用者への聞き取り(6月) 3 口腔観察シート活用上の意見集約 ICTを活用した情報提供と意見集約(10月～2月) 4 経口摂取支援歯科医療従事者研修会 平成29年11月30日(木) 対象:歯科医師 5 経口摂取支援関係者連携会議 1回 平成30年2月22日(木)予定 出席者:歯科医師会、医師会、歯科衛生士会、管内市町地域包括支援センター、ケアマネジャー、訪問看護ステーション等	1 実務者会議の開催 2回 働く世代・若い世代に対し、必要な情報を届ける体制や方法を検討し実践に繋げる。 平成29年7月5日(水) 平成30年1月15日(月) 2 普及啓発 管内各市町村、保健所は、11月を普及強化月間とし海部地域いい歯キャンペーンを展開した。 3 研修会の開催 平成30年1月15日(月) 対象 成人期歯科保健事業に企画、従事する歯科衛生士等	1 ワーキング会議 2回 実態調査結果の共有及び(仮)マニュアル作成の検討を行った。 出席者 愛知学院大学(助言者)、市町福祉・母子保健関係者 平成29年8月28日 平成29年10月27日 2 関係者会議 1回 (仮)マニュアルの検討及び効果的活用について協議 出席者 愛知学院大学(助言者)、歯科医師会、市町福祉・母子保健関係者予定 平成30年3月5(月)予定 3 関係者研修会 1回 関係者会議出席者を対象に研修会を開催し、「食べ方」支援の環境整備の連携を図る。 平成30年3月5日(月)予定	1 災害時の口腔ケアに関する調査(平成29年10月) 平成28年度に行った調査内容と同様のものとし、歯科医師会市、歯科保健担当課、防災担当課)の平時と発災時の準備すべき体制について進行管理を行う。 2 災害時歯科口腔保健医療推進会議の開催 (出席者)各地区歯科医師会代表、愛知県歯科衛生士会支部代表、歯科保健担当課、防災担当課職員 第1回:平成29年6月29日 (1)衣浦東部保健所地域歯科保健課題対応事業について (2)災害時歯科口腔保健の取組について ア 豊川市保健センターの取組 イ 管内各市・各歯科医師会の取組 第2回:平成29年11月30日 (1)災害時口腔ケアに関する調査結果について (2)来年度の取組(案)について 3 災害時歯科口腔ケア研修会(平成29年7月31日) (1)講演「災害時歯科口腔保健・医療対策の進め方」 講師:神戸常盤大学短期大学部教授 足立了平氏 (2)グループワーク 4 管内市の防災訓練への参加

Ⅲ 地域歯科保健課題対応事業				
保健所	西尾	新城	豊川	健康対策課（全体研修）
事業名	う蝕対策環境整備支援事業	乳幼児う蝕予防対策の推進への支援 ～人口規模の小さな町村における取り組みを中心として～	障害児の「かかりつけ歯科医」推進に向けた支援体制の構築	成人期・高齢期の歯科検診(健診)事業の推進
地域課題	<p>○むし歯緊急事態宣言の発令から10年が経過し、う蝕は減少傾向を示しているが、今だ3歳児のう蝕においては、県平均値よりも高い状況にある。</p> <p>○地域歯科保健課題対応事業として平成28年度に地域の乳幼児う蝕対策を取組んだことにより、う蝕対策を推進するための環境整備が喫緊の課題として明確になっている。</p>	<p>○管内の子どものう蝕状況は12歳児では県計より大きく減少しているが、3歳児は依然として高い状況である。特に北設楽群ではう蝕有病者率、一人平均う蝕数ともに増加している。</p> <p>○北設楽郡の3町村には歯科衛生士の配置がなく、歯科保健事業は保健師と在宅歯科衛生士が担っている。</p>	<p>○管内3市のうち2市には障害者歯科医療センターが設置されているが、1市は専門医療機関がない。また、管内歯科医療機関のうち、あいち医療情報ネットによる障害者歯科治療に対応する歯科医療機関は、33.6%(50医療機関)であり、対応する医療機関は限られている。</p> <p>○地域において、「かかりつけ歯科医」による予防管理、専門的支援が受けられる支援体制の整備が必要である。</p>	<p>○愛知県歯科口腔基本計画において、成人期・高齢期の歯周病に関連する指標は悪化している項目が多い。</p> <p>○職域を対象に歯科保健事業を実施している市町村はごく一部であり、働く世代に対する啓発は十分でない。</p> <p>○歯周病検診については、受診率の向上、マニュアル改正に伴う調整、精度管理などの課題がある。</p> <p>○高齢者歯科口腔健診事業については、関係者間で情報共有されておらず、市町村での実施につなげていない。</p> <p>○特定健診共通問診項目への対応について、関係者で情報共有する必要がある。</p>
事業の目的	う蝕対策を推進する市町の支援をすることにより県の“歯の健康目標”の達成を図る。	北設楽郡の歯科保健事業に関わる関係者が、う蝕対策の推進に取り組むことにより、乳幼児のう蝕が減少し、重症化を予防することができる。	地域に暮らす全ての子どもたちが、いつでも安心して定期的な歯科健診と専門的な支援を受け、歯と口の健康づくりを通じた健康で質の高い生活を送ることができる。	愛知県歯科口腔保健基本計画の推進に向けて、愛知県口腔保健支援センター業務の一つとして、県内共通の歯科保健医療に係る健康課題に対応することを目的に、歯科口腔保健医療関係者の人材育成及び相互連携を図るための研修会を開催する。
目標	<p>1 町歯科保健事業関係者が、地域のう蝕発生に関する課題について共有することができる。</p> <p>2 町歯科保健事業関係者がう蝕対策に取り組むための基盤整備の実現に向けて、関係機関の人材の育成及び環境整備のための関係機関の連携の緊密化を図る。</p>	<p>1 北設楽群の在宅歯科衛生士を始めとする歯科保健事業に関わる関係者が、地域のう蝕予防に関する課題について共有し、課題解決のための効果的な啓発や保健指導が実施できる。</p> <p>2 歯科保健事業関係者が、乳幼児のう蝕発生リスクをアセスメントし、適切な歯科保健指導が継続実施できるような媒体やマニュアルを作成することが出来る。</p>	<p>1 障害児支援関係者が、障害児の歯科口腔保健医療の現状と課題を共有できる。</p> <p>2 障害児支援関係者が、予防の重要性とそれぞれが担う役割を理解できる。</p> <p>3 障害児支援関係者が、子育て支援の一つとして、予防の助言・情報提供などの早期介入ができる。</p> <p>4 歯科治療が難しいと予想される児の保護者が、障害児支援関係者から情報を得て、「かかりつけ歯科医」へ受診することができる。</p>	<p>1 研修受講者が、成人期・高齢期の現状と課題を情報共有できる。</p> <p>2 研修受講者が、各地域の歯科検診(健診)事業をはじめとした歯科保健事業の見直しにつなげることができる。</p>
事業内容	<p>1 ワーキング検討会(1回目)及び研修会 う蝕対策支援の環境整備の重要性を理解する。 平成29年10月18日(水) 関係者: 町関連の歯科医師会代表、園歯科医代表、学校歯科医代表、町関係者(健康課、子ども課、教育委員会) 講師: 日本赤十字豊田看護大学 教授 森田一三氏</p> <p>2. ワーキング検討会(2回目) う蝕対策支援の環境整備について検討する。 平成29年12月15日(金) 関係者: 町関連の歯科医師会代表、園歯科医代表、学校歯科医代表、町関係者(健康課、子ども課、教育委員会) 助言者: 日本赤十字豊田看護大学 教授 森田一三氏</p> <p>2. 会議(1回開催) う蝕対策を推進するための環境整備の具体的な工程、県及び管内市町の健康増進計画推進について意見交換を行う。 平成30年1月30日(火)(予定) 関係者: 町関連の医師会代表、歯科医師会代表、薬剤師会代表、町関係者(健康課、子ども課、教育委員会) 助言者: 日本赤十字豊田看護大学 教授 森田一三氏</p>	<p>北設楽郡の中心となる設楽町において、実施しその結果を他の町村においても活用することとした。</p> <p>1 母子健康診査マニュアル報告等によるう蝕発生要因分析及び評価</p> <p>2 う蝕対策推進検討会 平成29年8月25日(金) 平成29年12月26日(火) 出席者: 歯科医師、従事歯科衛生士、保健センター、園主管課、保育園長、学識経験者</p> <p>3 各町村関係者による健康教育・広報等における啓発媒体の作成及びう蝕発生リスクの高い児への対応マニュアルの作成への支援(月1回開催の特定町村人材育成支援事業を活用し進捗管理及び検討)</p>	<p>1 歯科保健医療ニーズ調査の実施 調査時期 平成29年9～10月 調査対象 a 療育施設、特別支援学級及び特別支援学校に通所、通学する児の保護者 回答数: 391 b 地区歯科医師会会員 回答数: 129</p> <p>2 歯科保健医療関係者連絡会議 2回 第1回 平成29年8月10日(木) 第2回 平成30年1月25日(木) 予定 出席者 各市保健、福祉、療育、学校関係者、地区歯科医師会、助言者</p> <p>3 支援者研修会 平成30年3月1日(木) 予定 講演 地域で支える 障害のある児の歯と口の健康管理 講師 石巻市雄勝歯科診療所 所長 河瀬聡一朗氏</p>	<p>【愛知県歯科医師会共催】</p> <p>1 日時 平成30年2月1日(木)午後</p> <p>2 場所 愛知県歯科医師会館 2階 歯～とびあホール</p> <p>3 対象 行政関係者: 市町村、保健所等の歯科保健担当者(歯科医師、歯科衛生士、保健師等)、歯科医療関係者: 愛知県及び郡市区歯科医師会の地域保健担当者、愛知県歯科衛生士会の会員等、職域保健関係者: 事業所安全衛生管理者、健康保険組合・協会けんぽの保健担当者等</p> <p>4 内容 (1) 講演「市町村の歯科検診(健診)事業の目的を再考する」 講師 (公社) 日本歯科医師会 副会長 佐藤 保氏 (2) 情報提供「若い世代からの口腔ケア推進事業、成人期口腔ケア推進事業の結果から」 報告者 (一社) 愛知県歯科医師会 理事 瀬川伸広氏</p>